

団体名の「F」は「感じる」こと・・・NPO 法人Fプロジェクト

和歌山市内を中心に、自己向上のための芸術文化活動や、医療福祉ボランティア活動をしている NPO 法人 F プロジェクトがあります。多様な技術や才能を持ったメンバーが、それぞれのできる事を、強制されることなく主体的にすればいいのではという考えのもと活動されています。

活動の一つ・音楽療法ボランティア

和歌山市内のデイサービスセンターのボランティアで、同法人代表の岡本さんと小原さんのお二人が、生伴奏と軽快なおしゃべりでみんなを楽しませてくれる場におうかがいしてきました。実際に見るまでは、単に歌を歌って楽しむ会かな、と思っただけでしたが、始まる前に緻密なプログラムをわたされビックリ！衣装にも気配りがあり、保育園や小学校などの公演には黒の正装で、お年寄りが多い演奏会には、赤い服など派手な服で行かれるそう、絶対黒白の服は着ないそうです。また前に張り出す歌詞ボードにもこだわりがあり、和紙に自筆で書くことにより歌のイメージ・色・匂いなどが感じてもらえるようにしています。



音楽療法活動の様子

最初は心肺呼吸をすする歌、発声発語目的の歌など曲目によって徐々にウォーミングアップをし、曲によって使う体の筋肉なども考えて選曲されているとのこと。歌によっては楽器や小道具を使ったり、音域を徐々に上げ刺激と集中力を高めたりと、多様な方法で進めていくと、最初は声も小さく、動きも少ない参加者たちも表情や動きに変化が見られ、素晴らしい笑顔が見られました。知っている歌が演奏されると、手拍子を取りながら自然と体を動かし、歌詞カードを見ながら集中して歌っていました。

音楽療法によって、運動訓練・脳活性化等のリハビリを、楽しく、無理なく・自由で自然に感じてもらえるようにしています。また毎年恒例のジャズセッションにも、演奏ボランティアとして参加されています。ランナー達は、軽快な演奏を聴きながら気持ちよく走り、元気をもらえ、とても喜んでいらるそうです。

チャリティ演奏活動

Fプロジェクトのもう一つの大きな活動、芸術活動について紹介いたします。毎年、和歌山JAF と共催で「交通公園コンサート」を行い、遊びに来ている親子さん達に楽しんでもらうようにしています。また毎年恒例のジャズセッションにも、演奏ボランティアとして参加されています。ランナー達は、軽快な演奏を聴きながら気持ちよく走り、元気をもらえ、とても喜んでいらるそうです。



コンサートチラシ

さらに春と秋の2回、鷺森別院・岡崎志坊にてチャリティコンサートを開催されています。春に開催されるコンサートは、桜の花が満開の野外舞台上、秋には紅葉の美しい野外舞台上で素晴らしい演奏会を開催し、たくさんの方々に優雅な気分を堪能させてくれます。

今年も4月6日(日)に「Bon appetit de printemps! (春の陽光を召し上がれ)」をテーマに「さくらチャリティコンサート2014」が開催されます。是非、行ってみたいかがでしょうか。
日時 4月6日(日) 13:00 開場・13:30 開演
会場 鷺森別院・岡崎支坊 (和歌山市森小手穂 555) 料金 1500円 (中学生以下無料)
※経費を除く収益金はNPO法人ジャパンプラットフォームに寄付されます。
お問い合わせ 090-1021-7068 NPO法人Fプロジェクト・岡本さん



みんなで作る情報板 わかやまイベントボード

- 紀の川流域の道と歴史・文化フェアシンポジウム

紀の川流域の歴史や文化について理解を深めます。
日時 3月15日(土) 13:00～16:00
場所 みんなの学校
内容 講演「万葉人と紀の川—古代紀伊の豊かさ」菊川恵三さん(和歌山大学教授)、パネルディスカッションなど
参加費 無料(申込み不要)
問い合わせ 紀の川流域の道と歴史・文化フェア協議会事務局 (FAX 073-428-2688・市民の力わかやま内)
- はじめてのぶらくり探検

子どもたちがぶらくり丁内でおつかいを兼ねて体験。また、親子でキャラ弁づくりに挑戦！
日程 3月16日(日) 11:30～15:00
場所 みんなの学校
持ち物 弁当箱(人数分)・500円(おやつ代)・飲み物・レジャーシート(ピクニック希望者)
問い合わせ・申込み みんなの学校 (073-460-2028)
備考 弁当の食材は主催者が準備。おやつをぶらくり丁内で購入します。希望者は和歌山城へピクニックへ。和歌山大学生が
- まくに地産地SHOW

真国の荘を舞台上に繰り広げられる、音新しい音楽活動をお楽しみください。
日時 3月23日(日) 13:00～16:00
場所 真国の荘(紀美野町養垣内 248)
出演 おかけ様プラザーズ、高校生ユニット「えぶろんず」
参加費 前売 2,000円・当日 2,500円(いずれも軽食込み)
問い合わせ・申込み 真国芸術の郷プロジェクト (073-497-0749・平日9時～17時)
- 講演会「すべてを失ったいま、伝えたいことがある。」

堀江貴文さんによる講演会。
日時 3月23日(日) 18:30～20:00
場所 和歌山県 JA ビル 2階・和ホール
講師 堀江貴文さん
参加費 一般 3,000円、高校生以下 2,000円(いずれも事前申込みが必要。参加費には堀江さんの著書「ゼロ」が含まれます)
問い合わせ・申込み 合同会社和 (メール info@nagomisa.info)

JI-MO Vol.16 TIMES

それぞれの関わり方で「暮らしたい町」をつくらう！

公益財団法人わかやま地元力応援基金 専務理事 有井安仁さん



和歌山市在住。
株式会社 PLUS SOCIAL 取締役、
和歌山大学客員准教授。

原点
高校生のとき、アメリカに1年間留学しました。留学先では多様な個性が認められる社会は素晴らしい、という気づきを得ることができました。帰国し、高校を卒業後は理容の専門学校に通い理容士の資格を取得しました。卒業後2年間をヘアサロンで働いた後、今の自分ができること、おばあちゃんっ子だったこと、どうせやるなら社会にいいことをしようと考えた結果、自宅からの外出が困難な方を対象とし、理容士自らが客の自宅へ訪問し洗髪やカット、毛染めなどを行う訪問理容ハンズを起業しました。当初、高齢者向けにとスタートしましたが、ひきこもりや障がい者や妊婦など、想定外の方々にまで利用者は広がっていきまし

どうして監事になったのか
私が30歳になってからの5年間は、わかやまNPOセンターの事務局長や副理事長など、中間支援の立場から市民活動を支える仕事をしてきました。行政から資金を得て、NPO活動団体などにサービスを提供する専門性は中間支援組織に身に付けることができず、同時に、行政以外の資金調達的重要性も考えました。おどるんや(紀州よさこい祭り)の実行委員会に10年間関わる中、その考えはより一層強くなったように思います。社会のためにがんばっている人が和歌山にはたくさんいて、その人たちに応援したいと思っ

メッセージ
暮らし続けられるまち、子どもたちが希望を持てるまち、個性が尊重されるまち、多様な性のあるまちを、同じまちに暮らすたくさんの方と一緒に頑張っていきたくです。自分でアクションをおこすのもいいし、誰かがやっていることにボランティアで手伝ってほしいし、寄付で応援するのも一つの参加のカタチです。それぞれの関わり方で「暮らしたい町をつくらう」ことに参加しましょう。